

東高 国際だより

平成30年5月10日
京都府立東舞鶴高等学校
国際教育部発行
2018 vol.2

春休み留学体験報告

2年4組の福田もえさん（青葉中出身）が舞鶴市の「ポーツマス市訪問青少年英語研修」に参加をしました。

福田もえさん（青葉中出身）～イギリス・ポーツマス短期留学～

1. どのような研修でしたか。

舞鶴市の姉妹都市であるイギリスのポーツマス市で3月17日～26日の10日間ホームステイや語学学校での語学研修を経験しました。

2. なぜ申し込んだのですか。

幼い頃より英会話を習っており、今の自分の英会話力を試してみたかったからです。そのためには黙っていないで積極的に話していこうと思いました。

3. 印象に残ったことは何ですか。

ホストファミリーと夕食を一緒に作り、食事をしながらその日のことを話したり、ホストファミリーが日本を旅行したときの話を聞いたりしたことです。また、イギリスは歴史のある国なので、古い建造物が至る所にあることにも感動しました。ポーツマスは舞鶴と同じく海洋都市で、舞鶴より規模の大きい赤煉瓦の建物がありました。

4. 今後頑張りたいことは何ですか。

英語をさらに頑張りたい、英語が身近にある環境にしたいです。話す練習をしたり、洋楽を聞いたりして英語を身近に感じたいです。

5. 東高生に伝えたいこと

不安はあると思いますが、留学をして損をすることはないと思うので、一度でいいので機会があれば是非申し込んでください！



カナダで滞在させて頂いた家族の方です！

春休みカナダ訪問報告

2年5組の遊里道 大智 君（白糸中出身）が将来の目標のためにカナダを訪問しました。

今回は2回目の海外旅行で、将来カナダの大学に留学を考えているので、視察を兼ねて友人と2人でバーナビー市とヴァンクーバー市に行ってきました。ブリティッシュ・コロンビア大学を見てきましたが、大学の規模や学生数にとっても驚きました。5万人ほどいるそうです。将来の留学に向けて現在の目標は英語力の向上です。今回の旅行で思ったことは、行ってみたい所があれば、国外でも恐れずに行ってみることだと実感しました。様々な体験ができ、素晴らしい旅となりました。



1年生 舞鶴引揚記念館 遠足（4月25日）

1年生は地元舞鶴を知る上で重要な舞鶴引揚記念館を訪れました。記念館は私達が訪れる前日に、30周年改装オープンしました。学芸員の方による引き揚げの歴史の講義を聞いたり、小グループに分かれてボランティアガイドさんの案内で展示物を丁寧に見学したりしました。1年生の中には中学校の時、語り部の養成講座に参加した人もいます。歴史を知ることで先人の平和への思いを皆で引き継いでいきたいものです。



去年はパスタを作りました

東高英語キャンプのお知らせ

日時：6月16日（土） 午前10時～午後4時（予定）

場所：東高 昼食代：300円程度 詳細は後日

定員：30名程度 他校のAETの先生もたくさん来られます！

一緒に英語ゲームや料理をしながら気軽に英語を楽しみませんか？



東高先生の Another Sky

Another Sky とは「第2の故郷」または「あこがれの地」という意味です。東高の先生の国内外での異文化体験をお届けしていきます！

1回目 浅田 和範 先生（英語科）

学生時代にオーストラリアのウーロンゴンという町の中学校・高校で、日本語を選択している生徒に日本語を教えたことがあります。今回は日本とオーストラリアの学校システムの違いについて書きたいと思います。

- 1 学級、ホームルーム教室が無く、授業ごとに教室を移動する
オーストラリアは、中高6年間の一貫教育（7年生から12年生と呼ぶ）が一般的で、日本のように学級やホームルーム教室がありません。授業毎に教科の教室に移動します。ホームルーム教室が無い場合、昼食は中庭やカフェで食べます。まるで日本の大学のような感じです。
- 2 ティーブレイクがある
毎日午前10時から20分間ティーブレイク（お茶・おやつの時間）があります。生徒は生徒、先生は先生で集まって、紅茶やコーヒーを飲み、お菓子を食べておしゃべりをします。
- 3 午後2時半～3時に下校
オーストラリアの学校にはそうじの時間がありません。3時以降にそうじの業者が入る為、生徒も先生も帰らなければいけません。学校に部活動は無く、スポーツをしたい生徒は地域のスポーツクラブに入ります。
- 4 授業中は発言を求められる
授業では、自分の意見を積極的に話すことが求められます。ディスカッションなども頻繁にあり、考えを掘り下げていく場面が多いです。自分から積極的に動かなければよい成績はつきません。
- 5 厳しい卒業試験
高校3年生の最後に卒業試験があります。州統一の試験で、大学入試、就職試験などでもこの点数が使われます。基準点を越えなかった場合は、高校を卒業することができず留年になります。高校3年生は必死で勉強していました。
オーストラリアの学校は日本より自由ですが、その分責任を求められます。日本ほど面倒を見てもらえず、自己責任になる場面も多いです。自由と責任は表裏一体だと感じました。



「国際だより」は下のQRコードからもアクセスできます。

